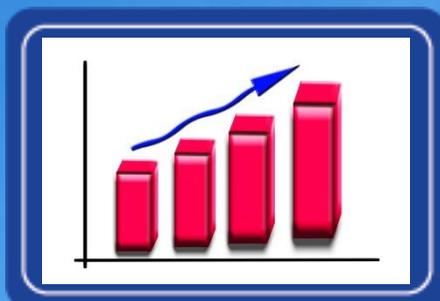


第5回 大阪蘇生アカデミー ガイドラインの現場への 落とし込み



日時 2017年12月9日(土) 9:00~17:30 (開場8:30)

会場 TKPガーデンシティ大阪梅田14F
大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル

主催 NPO法人 大阪ライフサポート協会

参加費
無料
定員300名

共催 大阪医科大学 救急医学教室
大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター
大阪大学 医学部附属病院 高度救命救急センター
関西医科大学附属病院 高度救命救急センター
京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター
近畿大学医学部 救急医学講座

後援 大阪府・大阪府下消防長会
大阪府救急業務高度化推進連絡協議会
(大阪府MC協議会)

第1部 9時00分~12時00分 病院外心停止記録活用研究会
『10年間で見てきた課題』

第2部 13時00分~17時30分
特別講演 『外傷蘇生とファーストエイド』
講師 地方独立行政機構堺市立病院機構 副理事長 横田順一郎

参加をご希望の方は下記URLかQRコードよりお申込みください。

URL goo.gl/K4iMyj または、
NPO法人 大阪ライフサポート協会 <http://www.osakalifesupport.jp/>



【お願い】 大阪府下の消防機関の方は、必ず所属を通してお申し込み下さい

時間	内容	
9:00-9:05	開会 近畿大学医学部	教授 平出 敦
9:05-12:00	病院外心停止記録活用研究会 10年間で見てきた課題 コメンテータ 厚生労働省 地域医療計画課 病院前医療対策専門官 消防庁 救急企画室 救急推進係長 講演1「個人情報保護法・倫理指針の改正とビッグ・データの取扱い」 演者:京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター 座長:関西医科大学 救急医学講座 講演2「新しい統計解析手法」 演者:大阪大学大学院医学系研究科 社会環境医学講座 座長:大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 講演3「携帯型脈波計による、市民救助者向け心停止認識アルゴリズムの性能検証」 演者:京都大学大学院医学研究科 予防医療学分野 座長:大阪医科大学 救急医学教室 講演4「体温管理法施行前の蘇生後低酸素性脳症の神経学的予後予測法: CASTの紹介とその利用の可能性」 演者:名古屋大学大学院医学系研究科 救急・内科系集中治療分野 座長:大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター	飯塚 悠祐 石井 秀樹 教授 川村 孝 講師 梶野健太郎 助教 北村 哲久 特任助教 酒井 智彦 大学院生 畠山 稔弘 講師 新田 雅彦 助教 錦見 満暁 助教 入澤 太郎
12:00-12:05	閉会 京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター	教授 川村 孝
12:05-13:00	休憩	
13:00-13:05	開会 京都橘大学 健康科学部	教授 西本 泰久
13:05-14:10	特別講演「外傷蘇生とファーストエイド」 座長:京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター 大阪府危機管理室 消防保安課 演者:地方独立行政法人堺市立病院機構	教授 石見 拓 課長補佐 林田 純人 副理事長 横田順一郎
14:10-14:25	休憩	
14:25-15:35	教育講演1「大阪救急症例帖2017」 演者:京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター 教育講演2「蘇生とアナフィラキシーと血管性浮腫」 演者:大阪警察病院 ER・救命救急科	特定助教 木口 雄之 医長 廣瀬 智也
15:35-16:00	休憩	
16:00-17:30	シンポジウム「救命につながる蘇生プロトコルを考える」 座長:大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター コメンテータ 厚生労働省 地域医療計画課 病院前医療対策専門官 消防庁 救急企画室 救急推進係長 講演1「119番通報から死戦期呼吸を聞き出し、AED使用を増やすための工夫」 演者:尾張旭市消防本部 講演2「現場でおこなうHigh-Performance CPR(フィードバックデバイスを用いた心肺蘇生)」 演者:京都大学 環境安全保健機構附属健康科学センター 講演3「積極的なアドレナリン投与」 演者:豊中市消防局 南消防署 講演4「心停止患者に対する経皮的な心肺補助装置導入の取り組み」 演者:大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター	准教授 西村 哲郎 飯塚 悠祐 石井 秀樹 中崎 郁也 助教 小林 大介 救急係長 杉田 健 助教 吉矢 和久
17:30	閉会 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター	教授 嶋津 岳士

第5回 大阪蘇生アカデミー開催概要

副題：ガイドラインの現場への落とし込み

日時：2017年12月9日（土） 午前9時～午後6時

場所：TKPガーデンシティ大阪梅田14階（大阪府大阪市福島区福島5-4-21）

内容：救急隊員が現場でおこなう病院前救護の質向上をめざし、特別講演、教育講演およびシンポジウムをおこなった。特別講演では、地方独立行政法人堺市立病院機構の横田順一郎副理事長を招き、「外傷蘇生とファーストエイド」についてのお話を伺った。教育講演では、毎年好評の「大阪救急症例帖」および「蘇生とアナフィラキシーと血管性浮腫」について講演があった。『救命につながる蘇生プロトコルを考える』と題したシンポジウムでは、消防司令室における心停止早期発見の取り組みと救命ボランティアとの連携について、胸骨圧迫のフィードバック機能が追加された除細動器の現場での活用について、現場における積極的な薬剤投与について、救急初療室における経皮的心肺補助装置導入のプロトコルについて、それぞれ講演およびディスカッションをおこなった。また、全体を通して、厚生労働省の飯塚悠祐病院前医療対策専門官と消防庁の石井秀樹救急推進係長にコメンテーターとして多くのご発言ご意見をいただいた。

成果：医師、看護師、救急救命士、消防士および救急救命士養成課程に在籍する大学生など様々な職種から230人と多数の参加をいただいた。現場へのガイドラインの落とし込みというテーマのもと、救命救急における最新の知見を共有すると共に、行政、病院、消防と異なる立場から救急現場のプロトコルについて活発な意見交換をおこなった。アンケートからも、多くが本会に満足し、次回開催を期待している事を窺い知ることができた。

参加者数：延べ230人

<主催> 特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会

<後援> 大阪府、大阪府下消防長会、大阪府救急業務高度化推進連絡協議会

<共催> 大阪医科大学 救急医学教室

大阪市立大学医部附属病院 救命救急センター

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

関西医科大学附属病院 高度救命救急センター

京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター

近畿大学医学部 救急医学講座

<協賛> 旭化成ゾールメディカル株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン、日本光電工業株式会社、日本メディカルネクスト、株式会社フィジオコントロールジャパン株式会社、株式会社CU、株式会社ジェイ・エム・エス、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社アレクソン、浜松ホトニクス、アイ・エム・アイ株式会社、大研医器株式会社、株式会社フジタ医科器械、株式会社高研、コーケンメディカル株式会社

（順不同）

写真





連絡先

(住所) 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-17-5 ステュディオ新大阪 416 号

(氏名) 定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会 事務局

(電話・FAX番号) TEL : 06-6370-5883 FAX : 06-6370-5884